

A・B・C展示室(2・3階)

企画展 植田正治 写真の昭和

2026年6月13日(土)ー9月6日(日)



今回の展覧会のテーマは、「昭和」です。懐古趣味、あるいはレトロブームとして語られることが多いのですが、1926年から1989年という60年以上におよぶ時代は、植田正治(1913ー2000)の写歴、そして写真やカメラの発展の過程と密接にオーバーラップしています。

昭和になると次第にカメラが一般に普及しはじめ、戦後になると国内外のメーカーが競うように、小型化、高性能化をめざし、産業としても目覚ましい発展をとげました。カラー写真も登場し、より親しみやすくなり、昭和の人々、家族にとって、そして何より「昭和」という時代そのものにとって欠かせないアイテムとなったのです。同時に、写真は単なる記録から、豊かな表現力をもつ、芸術のひとつのジャンルとしても、ひろく認識されるようになったのです。

植田は学生時代からカメラや写真の魅力に出会い、1932年、昭和7年には境港に「植田写真場」、仕事としての写真館を開業しながらも、アマチュア写真家としての活動に熱心に取り組んでいきます。戦後にもかかわらずスタンスで、長年にわたり「写真すること」を楽しみながら、雑誌に多くの作品が掲載されるようになり、写真集が出版され、プロのような依頼も多くなっていきました。そんな植田が、撮り遣した無邪気な子供たちの姿、懐かしい近所の街並み、すがすがしいほど素朴な人々など、多くのイメージを通して、あらためて「昭和」という時代の魅力を浮き彫りにします。昭和はまさに写真の時代であり、写真にとって、そして植田にとって、最良の被写体であったでしょう。

【同時開催】1階D展示室

植田正治物語 — 写真するボク —

植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館
TEL:0859-39-8000

メール: bijyutsukan@houki-town.jp
ホームページ: <https://www.houki-town.jp/ueda/>
■開館時間/10:00~17:00 (最終入館は16:30)
■休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌日) ※8月11日、12日は開館

町民の方は入館無料です。

ご来館の際は、広報ほうき6月号無料招待券をご利用いただくか、免許証など住所のわかるものを提示してください。

美術館オリジナルマグカップ
できました!

1個 2,400円
(税込)



大山ますみず高原 天空リフト
~空中散歩で絶景広がる感動パノラマへ~



町民割引券

お一人様 500円 (大人・小人共通)

※通常 大人1,500円・小人1,000円
※本券1枚で5名様までご利用いただけます。

有効期限: 令和8年11月23日まで

大山ますみず高原天空リフト
西伯郡伯耆町大内榎水高原1069-50
Tel.0859-52-2228

